niwanowa guide map

2017.6.3(sat)・6.4(sun)
10:00-16:00　会場：佐倉城址公園
雨天決行・台風など荒天の場合の中止　入場料 ¥300（高校）未中学生以下無料

「にわのわ」から、みなさまへのお願いです。
会場では、下記の注意事項をお守りください。

＊ピクニックシートなどの使用は、通行の妨げにならない場所でお使いくださるようご協力ください。
＊飲食ブースでお買い上げ頂いた商品のゴミについては、各ブースにて回収します。その他のゴミについては、各自でお持ち帰りをお願いします。
＊食べ残し・飲み残しやその他の汚水等を、公園内の土壌に捨てるなどの行為は厳禁となりますので、ご注意ください。
＊公園内はすべてのエリアが禁煙となります。また火気厳禁となりますのでご注意ください。
＊ペットをご同伴の際は、会場内では排泄をさせない、リードを離さないなどのマナーをお守りください。
＊イベント会場内での盗難、器物の破損、作品の破損などは、主催者側での責任は負いかねます。十分なご注意をお願いします。
＊イベント会場内では、ボールや遊具を使った遊びを禁止します。
＊公園内は自然のままの地形が多く危険な箇所があります。万が一ケガなどを負われた場合も、主催者側では責任を負いかねますのでご注意ください。
＊公園内の樹木、芝、コケなどの自然を踏み荒らすことなく、美しい緑を大切に扱っていただくようお願いします。
＊その他、佐倉市役所公園緑地課からの公園利用の注意事項についても、お守りくださるようお願いします。

◎緊急時は、クラフトエリア内のインフォメーションへ！

会場内での急病、ケガなどの緊急時は、クラフトエリア内のインフォメーションへお知らせください。また、は、にわのわスタッフTシャツを着用したスタッフにお声がけください。

◎「にわのわ」専用駐車場のご用意はございません。
歴博駐車場・市営駐車場への駐車はご遠慮ください。

「にわのわ」では、周辺道路の渋滞緩和のため、公共の交通機関利用のご協力をいただいております。また、周辺道路への違法駐車は近隣住民のみなさまにご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
※お身体のご不自由なかたへは、自由広場に駐車スペースを設けておりますのでご利用ください。

お問合せ
にわのわアート＆クラフトフェア・チバ実行委員会事務局
〒275-0012 千葉県習志野市本大久保3-8-3 tel/fax 047-489-1460　info@niwanowa.info
※お問合せはメールにてお願いいたします。※時間帯により電話でのお問合せに出られない場合がございますのでご了承ください。

niwanowa guide map 2017　発行：にわのわアート＆クラフトフェア・チバ実行委員会事務局

# 「にわのわ」だけじゃない！
# 佐倉のまちも楽しもう！

まちにも ひろがる 楽しみのわ「まちのわ」。
今年も佐倉城下町商店会エリアを中心に同時開催！

京成・JRの佐倉駅と「にわのわ」会場をつなぐ佐倉のまちを楽しんでもらおうと、2015年からはじまった企画「まちのわ」。昨年からは佐倉のまちの有志による『まちのわ実行委員会』も成され、ますます充実のラインナップ！ 楽しい企画がいっぱいです。「にわのわ」では『旧平井家住宅』に「にわのわ特別展示室」＆「にわのわ休憩室」を開設。「まちのわ」を一緒に盛りあげていきます。「にわのわ」＆「まちのわ」、どちらも、ぜひぜひ、お楽しみください。

くわしくは、まちのわHPをcheck! http://machinowa.info/

スタンプラリー
フォトコンテストも開催！
まちのわmap
配布中！

## まちから、ちょっと足を伸ばして。

### 【佐倉草ぶえの丘バラ園】今が盛り！
「ローズフェスティバル」は6月4日（日）まで！

“ミスター・ローズ”と称された偉大なバラ育種家・故鈴木省三氏の遺産である“ヘリテージローズ”をはじめ、世界各国のバラ研究家や愛好家から寄贈された、約1,050種類2,500株の貴重なバラが植栽されています。「ローズフェスティバル」をはじめ、バラに関するさまざまなイベントも。めずらしいオールドローズなどの苗木も購入できます！

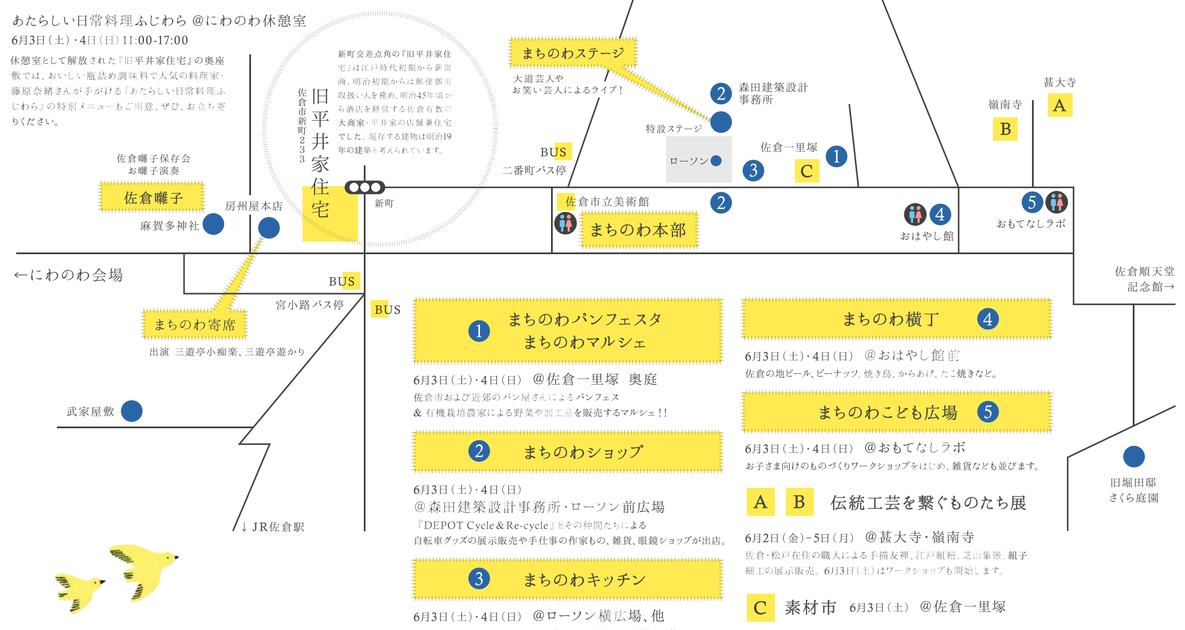
2015年『世界バラ会連合』『優秀庭園賞』受賞

●佐倉市飯野820●043-485-7821 京成佐倉駅からバス15分
●9:00-18:00 (3/20~10/31) 9:00-16:30 (11/1~3/19) ●休園 年末年始 (12/29~1/1)・月曜日 (11/1~3/19)
●入園料：大人¥410 小人（小・中学生）¥100 http://www.kusabue.shiteikanri-sakura.jp/

## にわのわ特別展示室＆にわのわ休憩室 @旧平井家住宅

### fripon-friponne まちのわ店 @にわのわ特別展示室
6月3日（土）・4日（日）10:00-17:00
「にわのわ」アート＆クラフト部門の選考委員を務めてくださる柳崎優子さんが営むお店『fripon-friponne』が『旧平井家住宅』にやってきます！ 人気のアクセサリー作家である『accessories MAU』の個展をはじめ、お店で人気のアイテムが並びます！

### あたらしい日常料理 ふじわら @にわのわ休憩室
6月3日（土）・4日（日）11:00-17:00
休憩室として解放された『旧平井家住宅』の奥座敷では、おいしい瓶詰め調味料で人気の料理家・藤原奈緒さんが手がける『あたらしい日常料理 ふじわら』の特別メニューもご用意。ぜひ、お立ち寄りください。




### 1 まちのわバンフェスタ まちのわマルシェ
6月3日（土）・4日（日） @佐倉一里塚 奥庭
佐倉市および近郊のパン屋さんによるパンフェス
＆ 有機栽培農家による野菜や加工品を販売するマルシェ!!

### 2 まちのわショップ
6月3日（土）・4日（日）
@森田建築設計事務所・ローソン前広場
『DEPOT Cycle＆Re-cycle』とその仲間たちによる自転車グッズの展示販売や手仕事の作家もの、雑貨、眼鏡ショップが出店。

### 3 まちのわキッチン
6月3日（土）・4日（日） @ローソン横広場、他
キッチンカーやおいしいテントが並びます。街歩きご合間に一休みを。

### まちのわ横丁 4
6月3日（土）・4日（日） @おはやし館前
佐倉の地ビール、ピーナッツ、焼き鳥、からあげ、たこ焼きなど。

### まちのわこども広場 5
6月3日（土）・4日（日） @おもてなしラボ
お子さま向けのものづくりワークショップをはじめ、雑貨なども並びます。

### A B 伝統工芸を繋ぐものたち展
6月2日（金）-5日（月） @甚大寺・嶺南寺
佐倉・松戸在住の職人による手描友禅、江戸組紐、芝山象嵌、組子細工の展示販売。6月3日（土）はワークショップも開催します。

### C 素材市 6月3日（土） @佐倉一里塚

### C 佐倉城下町古本市 6月4日（日） @佐倉一里塚

## 歴史と文化のまち・佐倉を歩いてみよう。

徒歩での参考コース
にわのわ会場 18分 武家屋敷 5分 旧平井家 1分 佐倉市立美術館 10分 佐倉一里塚 14分 旧堀田邸・さくら庭園 12分 佐倉順天堂記念館
京成佐倉駅から「にわのわ」会場まで徒歩20分
京成佐倉駅から「まちのわ」中心街まで徒歩11分
まちのわ中心街

関東最大級の武家屋敷群。
### 武家屋敷
・旧河原家住宅
・旧但馬家住宅
・旧武居家住宅

城下町の面影を残す、土塁と生垣の通りには6棟の武家屋敷が立ち並んでおり、そのうち3棟が公開されています。江戸時代後期に建てられたそれらの建物は、当時の武家の生活様式や暮らしぶりをうかがい知ることができる、貴重な文化財です。

佐倉市宮小路町57 ●043-486-2947 ●9:00-17:00（入館は16:30まで）
●月曜（祝日の場合翌日）・年末年始休み
●入館料：大人¥210（¥150）学生¥100（¥70）
※土曜に限り小中学生無料

重要文化財にして名勝。
### 旧堀田邸・さくら庭園

最後の佐倉藩主・堀田正倫が旧領である佐倉に設けた邸宅・庭園。建物は国の重要文化財に、庭園は国の名勝に指定されています。明治期の上級和風住宅の雰囲気をそのままに味わえる佇まいで、さまざまなドラマ・映画の舞台としても利用されています。

佐倉市鏑木町274 ●043-483-2390 ●9:30-17:00（入館は16:30まで）
●月曜（祝日の場合翌日）・年末年始休み
●入館料：大人¥320（¥210）学生¥160（¥100）
※土曜に限り小中学生無料 ※さくら庭園は無料で見学いただけます

西洋医学の礎を築いた地。
### 佐倉順天堂記念館

蘭学のメッカとしてその名を馳せた佐倉を代表するランドマークが「佐倉順天堂」。蘭方医・佐藤泰然により開かれた蘭医学の塾兼診療所です。現在は、記念館として当時の順天堂で使用されていた医学書や器具が展示されています。

佐倉市本町81 ●043-485-5017 ●9:00-17:00（入館は16:30まで）
●月曜（祝日の場合翌日）・年末年始休み
●入館料：大人¥100（¥70）学生¥50（¥30）
※土曜に限り小中学生無料

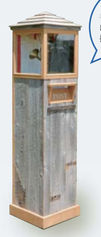
◎お得な「三館共通入館券」も！ 1枚で旧堀田邸・武家屋敷・佐倉順天堂記念館の三館を見学できるお得な入館券を発売中です。 大人¥540（¥370）学生¥270（¥190） ※（ ）は20名以上の団体料金 ※当日限り有効
「にわのわ」会期中は、にわのわチケットまたは半券提示で入館料が団体割引料金となります！

# ようこそ！「にわのわ」へ！

今年もアート＆クラフトをはじめ素晴らしいつくり手が集結。
「にわのわ」の楽しみかたをご紹介します。

### おしゃべりのきっかけをつくる方法。
2017年の「にわのわ」は、200名を超える応募者の中から、6名の選考委員によって選ばれた98組に、推薦作家6名を加えた計104組の作家による作品の展示・販売となります。
「にわのわ」では、普段はなかなか顔を合わせる機会がないつくり手と、直に向き合うことのできる会場で話をするきっかけになればと、千葉とのゆかりなどを作家自らが綴った自己紹介シートをテントにつけてもらっています。意外と近くに住んでいた！とか、はたまた同じ学校だった！とか、いっきに親近感がわくと毎年好評です。そして、おしゃべりが弾んだら、それらの作品がどのようにつくられたのか、また、どのような思い入れを持ってつくられたのかも、ぜひ、聞いてみてください。作品に宿るストーリーを知ることで、作品を大事にしたいという気持ちも、きっと大きくなるはず。つくり手とつかい手であるみなさんとの「わ」が、この縁の庭から、大きく大きくひろがっていきますように。

### おいしいものを見つけたら。
イベントといったら、やっぱり気になるのはおいしいもの。「にわのわ」では、県内を中心にセレクトしたこだわり食材の料理、パン、ドリンクなど、さまざまなお店がずらりと並びます。また、2017年は、陽だまりエリアに地元佐倉のお店が切り盛りする「さくらカフェ」も出店！さあ、お目あてのおいしいものをゲットしたら、緑が美しい休憩スペースで、ピクニック気分をお楽しみください。




niwanowa art&craft fair chiba 2017

### 普段は伝えられない思いを手紙にして。
大好きな人に、遠く離れて会えない人に、言葉にだしてはうまく伝えられない思いを、手紙にのせて届けてみるのはいかがですか？ 毎年好評の「にわのわ郵便局」は今年も開設！この日、この場所だけで押してもらえるイラストレーター・木下綾乃さんの小型印もご用意しています！人と人がつながる「わ」を1通の手紙から。「にわのわ郵便局」があなたの思いをお届けします！

2017年の小型印は
りすの"のわ"と
ヤギ"ヤギ沢"

## 会場となる『佐倉城址公園』も、みどころいっぱい！

### 【国立歴史民俗博物館】「にわのわ」会場に隣接した人々のくらしの博物館です。

絵看板 たこ娘かに男(志村静峯作)個人蔵

『国立歴史民俗博物館（通称『歴博』）』と聞くと、ちょっと堅苦しい展示なのでは？なんて思ってしまいますが、みなさんの感想は「おもしろかった！」のひとこと。『歴博』は、さまざまな時代の人々のくらしにスポットをあて、精巧につくられた模型や資料を見たり体験したりすることができる博物館なのです。例えば、「にわのわ」会期中の特集展示では「見世物大博覧会 現代編」を開催中。怪しげな絵看板やポスターなど、見世物小屋の雰囲気を体感できるユニークな展示となっています。また、7月からの企画展示「URUSHIふしぎ物語 ―人と漆の12000年史―」は、漆が日本のくらしの中にどのように息づいてきたかをひも解く内容となっており、手仕事に興味のあるかたには必見です！

佐倉市城内町117 ●03-5777-8600（ハローダイヤル）●3月~9月 9:30-17:00（入館-16:30）
●休館・休苑日：月曜（祝日の場合翌日）・6/10（土）、11（日）・年末年始休み
●入館料：《本館》大人¥420（¥350）高・大学生¥250（¥200）《くらしの植物苑》¥100（¥50）
※《本館》《くらしの植物苑》ともに小・中学生無料、毎週土曜日は高校生無料、（ ）は団体料金
http://www.rekihaku.ac.jp

「にわのわ」会期中は、にわのわチケットまたは半券提示で入館料が団体割引料金となります！
付属施設『くらしの植物苑』でもご利用できます。また、7/11（火）~9/3（日）開催の企画展示「URUSHIふしぎ物語」も、にわのわチケット半券提示で入館料が団体割引となります。
（大人¥830が¥560・高・大学生¥450が¥250）上記の期間中は、何回でもご利用可能です！

## 少し足をのばして庭園も美しい美術館へ。

### 【DIC川村記念美術館】
「ヴォルス ― 路上から宇宙へ」

《無題》1942/43年 DIC川村記念美術館

ヴォルス（1913-51年）は音楽と詩に親しみ、独学で絵を描くようになった稀有な芸術家です。第一次大戦後のドイツで育ち、さまざまな職業を経て1930年代に移住先のパリでまず写真家として認められました。ドイツとフランスが戦争を始めると敵国人として収監され、カメラを失った彼は水彩画やドローイングに没頭します。蜘蛛の糸のような描線と澄んだ色彩はヴォルス独自の魅力を湛えています。戦後はジャン＝ポール・サルトルら文学者たちに認められ、彼らの著書に銅版画の挿絵を寄せたのも束の間、わずか38歳で早すぎる死を迎えました。本展は約120点の写真・水彩画・銅版画・油彩画を展観し、路上の石や虫を観ながら遠く宇宙までも見通したヴォルスの深い作品世界をご紹介するものです。【7/2（日）まで開催中】

●佐倉市坂戸631 ●050-5541-8600（ハローダイヤル） ●9:30-17:00（入館は16:30まで）
●入館料：一般¥1,300（¥1,100）学生・65歳以上¥1,100（¥900）小中高¥600（¥500）
http://kawamura-museum.dic.co.jp

「にわのわ」会期中は、にわのわチケットまたは半券提示で入館料が団体割引料金となります！